

(常磐地区まちづくり検討会)
令和3年度第2回ワーキンググループ会議
(HuLabo③) : 情緒ある温泉街づくりWG
要旨

■ 日時

令和3年11月26日(金) 19:10~20:00

■ 場所

常磐公民館 第1会議室

■ 会議の流れ

- 1 開会
- 2 挨拶(都市計画課)
- 3 議事
 - (1) 事務局説明
 - (2) 商店街のにぎわい再生実現に向けた意見交換(事前アンケート共有・ミーティング)
…ミーティング・意見交換の概要は後記参照
- 4 その他
・特になし。
- 5 閉会



■ 意見交換の概要(要旨) ○: 関係団体委員 ⇒: 事務局・行政委員

- 滞留拠点を常磐支所だけと考ええるのではなく、温泉神社から「ほるる」までの通り(三函・吹谷線)において観光客が回遊することが望ましいと考えてきました。ただ、道路が狭くて課題もありますので、あの通り全体も含めて意見交換した方がよいと思います。
⇒ ご意見のあった「通り」については、関連施策として、無電柱化の検討と歩行空間の確保という形で検討をしてはどうかというご意見などを頂いておりますので、あわせて検討していきましょう。
- 温泉神社と一体的な滞留拠点の検討を行っていくことに対し、色々とアイデアが出ておりますが、神社という厳かな雰囲気のある景観づくりが望ましいと思います。和風なものを殺してしまわないように注意が必要です。神社の景観を活かす点では、モミジやイチョウの視線にかかっている支所及び温泉タンクをどうするのかという視点での検討が必要です。そこにいる人が神社と一体的だなど感じる必要があります。足湯でも飲食ができるようなスペースがあるといいと思いますし、滞留拠点の場所で何をするのかということが重要で、楽しめる、非日常的な空間がいいと思います。
- 温泉神社、童謡館、鶴の足湯と一体的と考えたときに、県道の拡幅整備などと連携し、県道から滞留拠点まで広がっているといい流れができると思います。確か、こいと旅館の先は幅員19mで整備していたと思いますので、余裕をもって拡幅していただければ、バスレーンも出来ればいいと思います。
- 温泉神社や童謡館、旅館、鶴の足湯、さはこの湯などがあり、滞留拠点を狙う位置としていいと思います。季節によって色々な方が訪れる、湯本を感じる場所となります。駅前と違って、観光・文化ゾーンとなりますが、欠点は車を停めるスペースが少ないと

ころです。「ほるる」に車を停めてこちらまで来られるような形が望ましいのかなと思います。

⇒ まちなかに駐車場というよりは、まちの外側に車を停めてアクセスできるようにすることが重要となります。

⇒ いわき石川線の拡幅については、さすがにこの場で即答はできるものではないのですが、このワーキング等で具体的な形が見え、地域としての御意見として頂ければ、県の方でも出来る限りのことは一緒に進めていきたいと思えます。

○ さはこの湯の近くに住んでいますが、昔から、家を建てる際に、数メートルセットバックしなければならないルールがあったかと思いますが、今、そのルールはどうなっているのでしょうか。

⇒ 都市計画道路として定められた道路で、線自体は今もあります。将来幅員の中に建築物を建築する際には、許可を得なければいけません、必ずセットバックしなければならないルールではありません。そのため、セットバックされている方もいればされていない方もいらっしゃるのが現状です。

○ 旧国道6号線（上三坂小野線）から踏切を渡って常磐地区市街地を通過する車両が多いです。これにより旧国道も右折車が滞留し渋滞が発生するなど問題があります。この件については、昔から問題視されており、市民会議の時代から行政とは話し合っていました。現状としてはやはり、通過交通が多いのが現状でありますので、無電柱化の検討にあわせて、この通過交通をさばけるような道路整備も必要なのかなと思えます。

⇒ 道路については、今沿道にお住まいの方々に全て移転いただき、道路事業をやるというのは、今のご時世、なかなか現実的なものではないかなと思います。前回のワーキングでも少しお話していますが、全て抑制できるかはわかりませんが、住んでいる方の交通が出来る形で、一方通行化なども考えていかないといけないのではないかと提案させていただいております。

○ 実際に、参道としてまちの方々、我々が考えていくのであれば、実際に沿道の空き地等も絡めて社会実験などを実施するのがいいのかなと思います。

○ 他の町にない滞留拠点、景観が求められますので、湯本の歴史・ストーリーを大切に検討していくべきだと思います。

○ 石畳やカラー舗装（舗装の高質化）は、具体的にどのような場所を考えているのでしょうか。

⇒ 先ほどの三函・吹谷線や支所の前のおり、またそこから少し中に入ったあたりが候補地になるのかなと考えています。

○ カラー舗装ってどんな感じになるのでしょうか。維持管理上のことも踏まえ、専門的なものがあるかと思えますので、そこは検討を進めていただければよいのではないのでしょうか。

⇒ ありがとうございます。次回のワーキングでは、イメージのパターンも示しながら意見交換をしたいと思います。

○ 障がい者や高齢者の方の歩きやすさなどを考えた上で、石畳やカラー舗装などを考えるべきだと思います。

⇒ バリアフリー、ユニバーサルデザインは前提として検討していきますので、よろしくをお願いします。

○ 滞留拠点や舗装、また駅前の交流拠点など、たくさんの施策があり、デザインがつぎはぎにならないようにする必要があると思います。トータルコーディネートするようなデザイン画がないと心配です。

⇒ デザイン関係については、全体パースなどを作成し、みなさんとイメージ合わせを行うことも検討していますので、よろしくをお願いします。

○ 三函・吹谷線のところで、細い通路があつたりします。そのようなところを行政ではなく、民間でも一緒に活用を考えていけるのかなと思います。

⇒ 景観形成については、道路だけではなく沿道部分について民間さんの取り組みが重要となってきます。景観形成については時間がかかるものでありますので、専門家も入れながら勉強したり、社会実験を行ったりしながら進めることが必要だなと思います。

○ 景観も、沿道でいえばお金をかけずに鈴蘭灯や提灯などで雰囲気一度つくってみるのもいいと思います。

○ バラバラの家が立ち上げていくのではなく、この範囲内で作りましょうというルールを景観条例みたいなもので定められれば、時間かけながら自然と街並みが出来上がってくると思います。

⇒ そうですね。これから、景観形成のルールづくりのスタートを切っていきたいですし、その中で、先ほどお話があった社会実験などを行いながら検討していくことが必要になってくると思います。